

企業責任として、災害時に企業が果たすべき役割を学べます。

現場対応ではそれぞれの役割が重要。それを学べるいい機会です。

OB から過去の災害対応などナレッジを共有できるのが大きいです

企業

消防団

様々なステークホルダーと連携することで、より実践的な対応を考えられます。

地方公務員

国家公務員

災害時の対応や、現場の方の考えを知れるのはとてもためになります。

よんなな防災会に入ませんか？

公務員や地域防災の担い手、企業、学生などが有志で参加し、防災・減災をキーワードに「勉強会」「交流会」を通じて学びやつながりを深めていく会です。

災害発生時に、自分が何をできるのか？を考えるきっかけになりました。

地域のリーダーとして、自治体職員との連携に自信がつかしました。

地域住民

地域リーダー

学生

Point

1

全体の半数以上は

公務員

よんなな防災会の構成メンバーの半数以上は国と自治体の職員。

国と自治体、自治体間の情報共有が図れることで、業務に生かれます。

Point

2

多様な

ステークホルダー

地域住民や地域防災に担い手、企業まで幅広いステークホルダーで構成されているので、防災/減災の知識はもちろん、人脈の構築にもつながります。

Point

3

防災知識ゼロでも

大歓迎

現役/OB はもちろん、防災に関心のある方でも参加 OK。

ここで得た知識や人脈を、地域や組織に還元されている方も多数います。

無料

参加したいな
と思ったら



Facebook グループ『よんなな防災会』へ参加申請するだけ！



- ①LINE フォームより、必要事項を入力
- ②運営メンバーから LINE の URL が送付
- ③友達追加
- ④運営メンバーからグループに招待

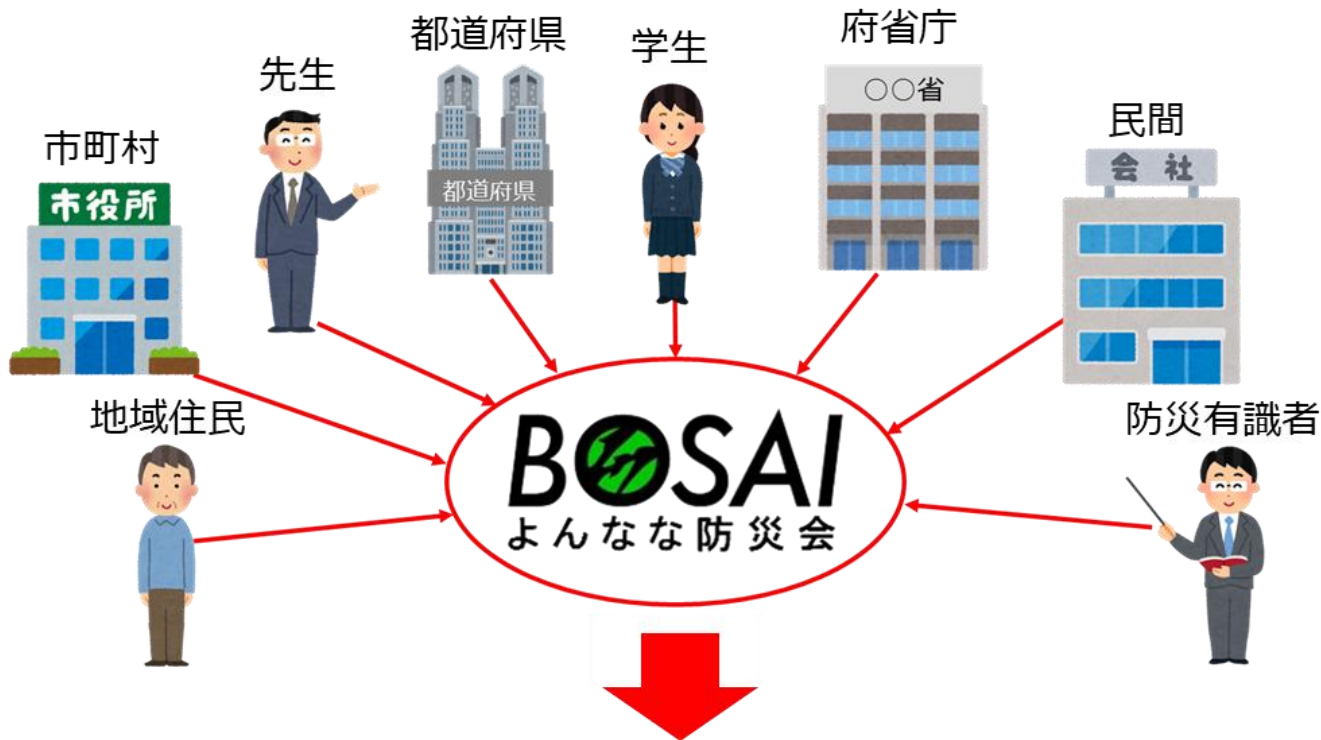


BOSA!
よんなな防災会

よんなな防災会に関する問い合わせ
よんなな防災会発起人 竹 順哉
mail : 47bosaikai@gmail.com



よんなな防災会へ参加するメリット



**よんなな防災会に参加することで、
防災を学びながら様々な方とつながることができます**
(防災に関する繋がりを構築するためのハブとしての役割)

参加者の声(一例)※他にも様々なメリットがあります。



自治体職員

他の自治体の取組や経験を聞くことで、自分の自治体の取組に生かすことができました。



消防団員

他の地域の消防団の活動を知ること、自分の住んでいる地域の消防活動に活かすヒントをもらえました。



住民

定期的な学びや交流により、全国の人とつながりができ、地域における防災意識も一層高まりました。

よんなな防災会から派生した分科会

BOSA I

よんなな防災会学生部



防災に関心のある学生がイベントや交流会を通してつながることで、防災活動の輪を広げることがを目的としています(中学生～大学院生まで幅広く参加しています)。

BOSA I

よんなな防災会女子部



防災分野に関心のある女子がつながり、顔の見える関係を作ることで、一人ひとりがその能力を発揮し、いきいき、楽しく活動し、防災力の向上に寄与することを目的としています。

よんなな防災会フジユニット
行動防災チーム
BOSA I BEHAVIORAL INSIGHTS TEAM



行動科学の視点を防災に取り入れることを通じて、災害による犠牲者ゼロ・災害に起因するあらゆる被害をできる限り少なくすることを目的としています。

行政機関との連携例

①女性版骨太の方針2022によんなな防災会女子部が記載されたことで、内閣府男女共同参画局と連携した企画を開催するなどしています(以下記載箇所抜粋)。

各地方公共団体で災害対応に携わる女性職員同士の組織の枠を超えたつながりを強化するため、よんなな防災会女子部等の民間団体とも連携し積極的に意見交換や情報共有を行うほか、女性防災士や地域の女性防災リーダーとのネットワーク強化に取り組む。【内閣府】

②内閣府防災等主催の「自治体危機管理・防災責任者研修」において、よんなな防災会として講座を担当し、自治体間の顔の見える関係構築を図っています。

様々な立場の方々が繋がることで、全体としての防災力向上を目指しています！



よんなな防災会に関する問い合わせ

よんなな防災会発起人 竹 順哉

mail : 47bosaikai@gmail.com